市長室からこんにちは

vol. 105

益田市長
山本 浩章

益田市には多種多様な歴史遺産があり、それらの指し示す時代もまた実に幅広いものです。

匹見に点在する縄文遺跡群や、当地がヤマト政権の山陰側の拠点だったことをうかがわせる大元1号墳、スクモ塚古墳などは、原始・古代の痕跡といえます。

幕末の石州口の戦いの開戦地である扇原関門跡は、まさに銃弾とともに近・現代が開け放たれた扉であり、歴史作家の司馬遼太郎が当地を「近代夜明けのまち」と呼んだ由縁の一つです。

そうした悠久の流れのなかで質量ともに抜きん出て充実しているのが、中世の歴史遺産です。石見国の有力武士団として勢力を築いた益田氏の城館跡である七尾城跡や三宅御土居跡、かつての城下町の名残を留める地割、雪舟作の庭園や重要文化財に指定された建造物を持つ神社・仏閣、そして多種多様な美術品・文化財が現存します。これほどにも「中世」が今なお息づいている地域は稀有とされます。

往時、これらの歴史遺産を見下ろすかのようにそびえ立っており、また平成16年に三宅御土居跡とともに「益田氏城館跡」として国の史跡に指定された中世益田のシンボル的存在が七尾城跡です。

七尾城は戦国時代末期に御殿や庭園を備えた礎石建物や櫓門と考えられる瓦葺建物などが整備されるなどして全山が城郭化されたことが発掘調査により明らかになっています。それまでの単なる山上の砦から、乱世を生き抜く政治・軍事の一大拠点へと変貌を遂げた山城であり、戦国期拠点城郭としての学術的価値は、上杉謙信の春日山城、織田信長の岐阜城、近江六角氏の観音寺城などと肩を並べます。

11月16・17日開催の「全国山城サミット益田大会」においても七尾城跡に光が当たります。城郭に一家言ある著名人に加え、地元の愛好家や活動家による語らいによって、新たな魅力が引き出されることでしょう。

同時に、日本遺産「中世日本の傑作　益田を味わう―地方の時代に輝き再び―」の意義を広く発信する絶好の機会でもあることから、いっそう周知啓発に努めたいと思います。

益田税務署からのお知らせ

税を考える週間 ～これからの社会に向かって～

国税庁では、国民の皆さんに租税の意義や役割、税務行政に対する知識と理解を深めていただくために、毎年11月11日～17日を「**税を考える週間**」として、ホームページ等でさまざまな情報を提供しています。

税を考える週間　検索

■税務署の仕事を紹介！

国民の安心と信頼に繋がる３つの仕事

- 税務相談
- 広報広聴活動（租税教室など）
- 納税者サービス
- 調査：税務調査／査察調査（脱税事件）
- 管理運営・徴収：税金の納付状況の管理／督促や滞納処分（納付がない場合）

～スペシャリストの３つの顔～

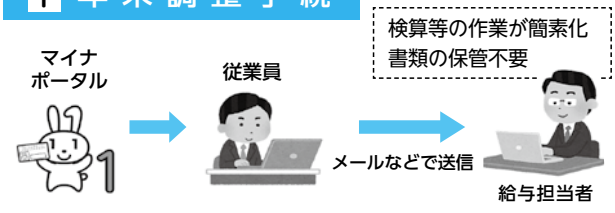
- **国税徴収官**：滞納税金の督促／滞納処分および納税指導
- **国税調査官**：個人、法人に対する調査および申告指導
- **国税査察官**：大口・悪質な脱税者に対する強制調査および告発

YouTube「国税庁動画チャンネル」

国税の仕事に関する動画を公開しています

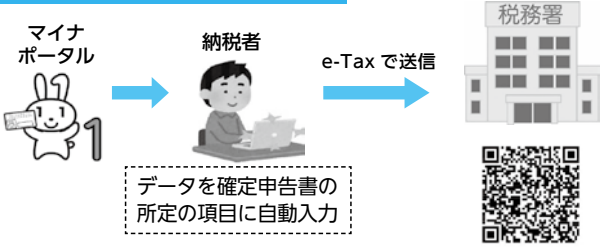
■マイナポータル連携

1 年末調整手続



年末調整控除申告書作成用ソフト（国税庁提供）など

2 確定申告手続



詳しくはこちら　国税庁特設ページ

【問い合わせ先】益田税務署　☎22-0444（代表）